

令和４年度第１回千葉市文化財保護審議会議事録

- 1 日 時 令和５年３月１４日（火） 午後２時～４時
- 2 場 所 千葉市役所新庁舎高層棟５階Ｌ５０１会議室
- 3 出席者 （委員）
山田俊輔会長、河東義之副会長、小関悠一郎委員、
菅根幸裕委員、吉村稔子委員、神谷睦代委員、
井口雅代委員
（事務局）
佐々木生涯学習部長、佐久間文化財課長、
横山文化財課長補佐、その他事務局職員
- 4 報告事項
 - （１） 「千葉市文化財保存活用地域計画」の作成状況に関する報告
 - （２） 千葉市地域文化財「寒川神社の御浜下り」関連資料の調査に関する報告
 - （３） 市指定文化財「旧生浜町役場庁舎」の管理に関する報告
 - （４） 加曽利貝塚新博物館整備事業に関する報告
- 5 会議経過

報告事項（１）「千葉市文化財保存活用地域計画」の作成状況に関する報告

（山田会長）報告事項（１）について、事務局より説明を願う。

【事務局職員が「千葉市文化財保存活用地域計画」の作成状況に関して報告】

（山田会長）ただいまの説明について、何か質問・意見等はあるか。

（菅根委員）別紙２ 市指定のみを保存計画の対象とするということか？

（事務局）保存計画の対象とするのは市指定に限らない。指定登録文化財に限定せず、未指定文化財も広く保存対象としたいと考えている。

（河東委員）建造物の市指定が２件しかないのは少なすぎる。未指定文化財をどれだけきちんと拾い上げ、どのくらい指定登録文化財として加えられるか検討すべきである。

千葉県による近代和風建築調査が実施済でリストはできている。未指定文化財のうち、「千葉刑務所」と「検見川無線

送信所」は国指定文化財に匹敵するものと認識している。官民の所有を問わず、文化財的価値があるものは保存・保護の対象としてほしい。リストに載せるだけで満足しないでほしい。

（事務局）市もしくは関係機関が把握調査を行い、報告書刊行済の文化財のリスト化を進めている。リスト化された中にはすでに滅失した建造物も含まれているため、追跡調査を実施し、リストを更新していく予定である。

（小関委員）今後作るリストの作成方針はあるのか。歴史資料・古文書は対象に入っているか。歴史資料・古文書は、市史編纂などで把握された重要な資料が多く存在する。

（事務局）リスト化の目的は、保存・活用の対象となる文化財の把握であり、市民が後世に残していきたいと考える文化財はリストに掲載し、保存対象としていく方針である。

（小関委員）別紙5に記載のある、市民参加型ワークショップの実施回数と実施時期はいつ頃を想定しているか。

（事務局）最大で9回実施したいとの希望で国に申請している。予算が確定した段階で可能な限り多くのワークショップを実施したいと考えている。大学生等の若い世代が参加しやすい夏頃の実施を検討し、予算が確定次第スケジュールを組みなおす。

（山田会長）アンケート分析の結果、具体的に見えてきた課題や、市民の方の要望はどんなものがあるか？

（事務局）歴史に興味がある方は年齢層が高く、若者の関心は低い傾向があり、千葉市のイメージとしては、文化的・歴史的な街であるイメージは低い。若い世代の方々の協力は不可欠であり、若い世代に文化財について興味をもってもらうためにはどのような策が有効となるかが課題である。

（山田会長）若い世代を取り込むことは必要であると同時に、年齢層が高い方にも参加しやすいようなケアが必要である。休みの日などでどのように活動したいかなども念頭に置く必要がある他、市民アンケートも継続して丁寧にとっていく必要がある。

（菅根委員）「活用」のなかでデジタルアーカイブを作成し公開することなどは検討しているのか。DX（デジタルトランスフォーメーション）についてはどうか？

（事務局）千葉市基本計画の中で、文化財のデジタルアーカイブ化を進めることを明記している。特に郷土芸能などはコロナ下で練習・発表の機会が減ったことが大きく、無形文化財についてアーカイブ化を進めたいと考えている。

（井口委員）実資料が非公開になっている文化財について、HPで写真等で公開しているのか。とにかく見てもらって興味を持ってもらうのが効果的ではないか。

（事務局）市文化財課のHPに市内文化財の情報を掲載しているが、情報が不十分であり、リニューアルを含めた情報公開を進めていかなければならないと考えおり、今後在り方を検討していく。

（山田会長）常陸大宮市など、社寺等が所有している非公開文化財を、曝冷の時期に合わせて集中公開しているところもある。所有者の協力は必須であるが、普段見ることのできない文化財を一度に見ることができる機会として効果的であり、地元の人々の関心も高い。参考にしてほしい。

（山田会長）他に何か質問・意見等はあるか。

【質問・意見無し】

（山田会長）事務局においては、報告の内容をもとに、今後の事務を進めていただきたい。

報告事項（２）千葉市地域文化財「寒川神社の御浜下り」関連資料の調査に関する報告

（山田会長）報告事項（２）について、事務局より説明を願う。

【調査を実施した菅根委員より報告】

（菅根委員）【以下、説明要旨】

裏地に嘉永３年の墨書書きがあることが重要である。絵巻に祭礼の様子が書かれており、近世には明らかに使用されていた。しばらく見つからなかったが発見され今日に至る

和田茂右エ門氏による『社寺よりみた千葉の歴史』（千葉市教育委員会 1984年）の報告にも本資料の報告がなされている。幕裏に寄進した人名が書かれていることも貴重である。嘉永３年（1850）の年号を持ち、村組織で作られたことが明らかであるとともに、本来祭礼時の使用により経年劣化しているはずの羅紗織物がほぼ完形で伝えられていることは重要である。

よって千葉市指定文化財に相応しい資料であると考える。

（山田会長）ただいまの説明について、何か質問・意見等はあるか。

（小関委員）墨書について、由来部分についてわかりやすくまとめられ報告されているものはあるか。

（菅根委員）千葉市立郷土博物館『研究紀要』第6号に報告以上の、製作由来に関する資料は確認されていない。『下総国千葉郷妙見寺大縁起絵巻』絵巻の中で描かれているので当時のもので間違いないと思われる。

本資料が、なぜ嘉永3年に作られたのか、それまで使っていた飾り幕がどうなったかは不明である。本資料は製作に関する由来が明らかになっている点で貴重であり、資料的価値が高いといえる。

（山田会長）資料の保存や修理について、現状で対処しなければならないこと等、どのように考えているのか。

（事務局）保管状況の改善については対応を検討する。修繕については、費用面が課題となるが、修理のための本格調査の実施を念頭に置いておく。材質等の修繕に必要なデータを揃え、修理するようになった際にすぐ対応できるようにしておくのが望ましいと考えている。

（山田会長）資料公開のこれまでの実績はあるのか。

（事務局）平成11年に千葉市美術館で開催された企画展「房総の神と仏」では、幕を船に吊り下げた状態で展示された。

令和元年度に千葉市立郷土博物館で開催された企画展「海と千葉」では、幕のみを展示台に寝かせた状態で公開された。

（山田会長）今後、文化財保存活用地域計画のWSなどでも資料の存在を取り上げていき、「こんなものが千葉市にあるんだ！」と市民の方に知ってもらうことが望ましい。

（事務局）価値が非常に高いと評価を受けたので、千葉市指定文化財に指定する方向で、所有者と協議を進めていきたい

（山田会長）事務局においては、報告の内容をもとに、今後の事務を進めていただきたい。

報告事項（3）市指定文化財「旧生浜町役場庁舎」の管理に関する報告

（山田会長）報告事項（3）について、事務局より説明を願う。

【事務局職員が「旧生浜町役場庁舎」の管理に関する報告に関して報告】

（山田会長）ただいまの説明について、何か質問・意見等はあるか。

（河東委員）部分修理なので、特に問題はないと認識している。1階壁面に使用されているベニヤが当初材なのか、という懸念があるが、おそらく後世のものだろうと考えている。

外壁に使用されているモルタルは昭和初期に洗い仕上げが流行した経緯もあり、本格的に修理を実施する際には、当初状況を正確に把握して実施する必要がある。

今後、耐震補強工事の際等に、当初状況を把握したうえでの復元が必要になると考えている。

（山田会長）他に何か質問・意見等はあるか。

【質問・意見無し】

（山田会長）事務局においては、報告の内容をもとに、今後の事務を進めていただきたい。

報告事項（４）加曽利貝塚新博物館整備事業に関する報告

（山田会長）報告事項（４）について、事務局より説明を願う。

【事務局職員が「加曽利貝塚新博物館整備事業」に関して報告】

（山田会長）ただいまの説明について、何か質問・意見等はあるか。

（菅根委員）学芸員の立ち位置はどのように整理しているのか？

（事務局）調査研究と企画展示のテーマ・展示品決めなど、企画立案部分は市の学芸員が直営で行い、展示準備にあたる部分は民間事業者が行う想定である。

（山田会長）加曽利貝塚の発掘調査で得られた成果の整理、関連する資料の収集、研究等は、市の学芸員でしかできない部分である。展示準備や教育普及は民間事業者が担当することだが、企画立案や準備運営を市と民間事業者の間で、上手く棲み分けられるよう、線引きをしっかりとする必要がある。一般的には展示レイアウトも学芸員が考えるのが多く、直営か民間に一括委託のどちらかである場合が多い。また、安定して職員派遣が可能な民間事業者がいるかどうかは不安である。民間事業者への委託を10年という長期間として問題がないのか、長期間に設定するのであれば、評価期間を設けて運営について適宜検討して

いくなどの体制整備が必要ではないか。

また、千葉市基本計画、文化財保存活用地域計画と、新博物館整備はどのように関連していくのか。

(事務局) 「千葉市基本計画」の中で、加曽利貝塚の整備・活用の推進を位置付けており、文化財保存活用地域計画でも整備・活用の推進を位置付ける予定である。また、加曽利貝塚出土資料の明確な価値づけを行い、文化財指定に向けた準備を計画に組み込むことを検討している。新博物館の開館までの文化財指定を目指すとともに、その後は重要文化財指定を目指すことも検討している。

(山田会長) 市としての新博物館の位置づけを十分に整理し、計画に反映してほしい。

(菅根委員) 遺跡と新博物館予定地は相当距離があるが、連携はどうするのか。

(事務局) 連絡橋を新設し、遺跡と新博物館をつなげる予定である。200～300m歩けば行き来できる環境を整備する。

(山田会長) 「博物館を中心とした地域資源・周辺施設とも一体となった賑わいづくりやまちづくり」とあるが具体的にはどのようなイメージか。

(事務局) 加曽利貝塚と周辺の遺跡をめぐる回遊性をもたせることを考えている。年間15万人の来館者数を見込んでおり、他の観光資源にも足を運んでももらい千葉市の観光資源を紹介できればと思う。

(山田会長) 他に何か質問・意見等はあるか。

【質問・意見無し】

(山田会長) 事務局においては、報告の内容をもとに、今後の事務を進めていただきたい。

(山田会長) これにて議事を終了する。

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部文化財課

T E L 0 4 3 - 2 4 5 - 5 9 6 2

F A X 0 4 3 - 2 4 5 - 5 9 9 3